

## ほおずきのことご存じですか？



ひらがな表記では、ほおずきが一般的、漢字では鬼灯が多く使われています。名前の由来は、「頬を赤くしている様子に似ていること」や「赤い実が火のように見えるから火火着(ほほつき)」といった、鬼灯の特徴である赤い実からイメージしているようです。



風習として鬼灯を玄関や仏壇の近くに吊るします。昔から提灯に見立てる習慣がありご先祖さまが、自宅まで迷わずにたどり着けるよう、目印として鬼灯が飾られています。そして、帰る時の提灯として使われるとも言われています。



また、鬼灯の膨らんだ部分は、お盆に帰ってきたご先祖さまが過ごす部屋とも言われているので、飾るだけでなくご先祖さまが身を置く場所にもなっていることを覚えておきましょう。

このような事を理解したうえで鬼灯を飾ると意味深いものになるでしょう。

